



令和元年6月20日(木)・29日(土)

アジア・アフリカ難民支援運動(2) アジアフ広報活動・物資回収



6月20日(木)前期中間考査最終日の午後、全校生徒が一斉に、大町市内の物資回収地域に、支援物資提供の願いに出掛けました。岳陽高校から、徒歩または自転車で回れる地域を2つに分けて、2年に一度、【マリ共和国に送る支援物資】と【文化祭のバザーで販売し、支援物資の輸送費にあてる物品】を集めさせていただきます。全校生徒を縦割りで、約100班に分け、3年生から1年生までと一緒に担当地区を回ります。初めて知らないお宅を訪ねる不安や緊張もありますが、多くのご家庭が温かい声をかけて下さり、アジアフ支援運動の大切さを実感することができました。(全校アンケートの集計によると、全校生徒の78%が、「地域の方が好意的に受け止めてくれた」と回答しています。)



6月29日(土)は、天候が心配されましたが、無事に物資回収を行うことが出来ました。20日に班ごとで訪問したお宅を再び訪れて、衣類や毛布、食品などをいただきました。特に、砂糖は、現地で大変不足しており、マリの方々には喜ばれます。また、お米(白米)や缶詰などもご提供いただき、これらは、バザーで地域の方にご購入いただくことで、お金のかかる輸送費を生み出すために使われます。